

台風15号・19号被害への支援を 実施しています



台風15号

強風により多くの家屋が被災(千葉県安房郡鋸南町)



台風19号

千曲川が氾濫し広範囲で浸水(長野県長野市)

被災した組合員の皆さんへの支援を続けています

台風15号の強風により、千葉県を中心に多くの組合員の皆さんも被災しました。大規模な停電・断水が発生したため、宅配では配達時に緊急支援物資として飲料水やパンなどをお配りし、被害状況を確認、困っていることがないかお聞きしました。



宅配の配達時に、被害状況や困っていることを確認したり、飲料水・パンなどの支援物資をお届けしました

台風19号による大雨では、各地で河川が氾濫。ご自宅が浸水してしまった方のために、配達時にタオルやマスク、軍手などをお渡ししました。

これらの災害で被災し、コープ共済に加入されている組合員の方には職員がご自宅を訪問。建物への被害が確認できた場合は、その場で共済金の給付申請手続きを行い、迅速な給付に努



コープながのの宅配センターでは配送トラックが水没。支援のため、コープデリグループ各生協と全国の生協から続々とトラックが到着しました

千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風15号、その傷も癒えぬまま台風19号が上陸し、各地に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。11月7日時点での状況をご報告します。

めています。

宅配では、り災証明書が交付された方を対象に、約1年間個人宅配の手数料を無料にする「自然災害割引」を実施しています。そのほか組合員の状況やニーズの確認を行い、復興に向けた支援を進めています。

組合員の皆さんより

水を買いたいのにはコンビニでもスーパーでも売っていなかったの、コープに水を配ってもらって本当にありがたかったです。



共済の給付手続きは申請や手続きが面倒だと思っていたけれど、宅配の担当者さんが声を掛けてくれ、すぐに訪問してくれたので助かりました。



緊急支援募金を実施しました

被災地域の1日も早い復旧と、被災された方々が平常の生活に戻ることを願い、「台風15号被害 緊急支援募金」(10月20日まで受付)、「台風19号被害 緊急支援募金」(11月17日まで受付)を呼び掛けました。台風15号被害 緊急支援募金には1億2千万円を超える募金が寄せられました。多くの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、被災された方々への義援金や被災地の復旧活動費用、被災された産直産地への復旧支援金などに活用されます。



「台風19号被害緊急支援募金」には11月7日時点で1億6千万円を超える募金が寄せられています。確定金額は今後あらためて報告します

被災地域や産直産地への支援を進めています

被災地域の自治体からの要請に基づき、食料・飲料水・ブルーシート・スコップなどを寄付しました。また各地のボランティア活動を支援するため、災害ボランティアセンターに職員を派遣。センターや避難所の運営支援などに当たっています。

コープの産直産地でも収穫前の野菜や果物に被害が出たほか、ビニールハウスの倒壊、加工場や集荷場への被災など大きな被害を受けました。被災産地を支援するため、職員からボランティアを募って産直産地に派遣し、廃棄物や倒壊したビニールハウスの撤去などを行っています。また支援販売を行い、被災産地を「食べて応援」する取り組みを進めています。

このマークが目印です

復興の力に
食べて
応援!



被災産地・生産者を「食べて応援」する支援販売を、宅配で2020年3月まで行う予定です



茨城県常陸太田市からの要請に基づき、現地の災害ボランティアセンターに職員を派遣。河川の氾濫で流されてきたドラム缶や流木など漂流物の撤去を行いました



被災自治体や社会福祉協議会、子ども食堂など、地域の要請に応じて支援物資を速やかにお届けしました



コープみらいの組合員や役職員からのお見舞い・応援の気持ちをメッセージにして、千葉県の産直産地の生産者(写真左)にお届けしました



産直産地が1日も早く生産を再開するための手助けとして、職員によるボランティアが倒壊したビニールハウスの撤去や収穫支援などを行っています。週末を中心に12月初旬まで行う予定です

生産者からのお礼状より

ビニールハウス解体のボランティアに来てくださり、ありがとうございました。農業を始めて45年、もう農業を辞めようかと思っていましたが、皆さまのおかげで20代のころに「日本の食料自給率を少しでも上げよう」と農業を志したことを思い出し、「おいしい野菜を作って誰かに喜んでもらいたい」と前向きに考え直すきっかけになりました。作業に加え生きるパワーももらい、本当に感謝しています。

引き続き、コープデリグループは被災者・被災地に寄り添った支援を続けていきます。